

◎計画趣旨

○篠原園地(公園)に開かれた来館しやすいデザイン

- ・平屋かつ軒先の高さを抑えることで、圧迫感のない親しみやすい外観になります。
- ・フルオープン可能な大開口を設けることで、開かれた外観になり、館内の活動が垣間見れるため、気軽に立ち寄れる親しみやすい自治集会所になります。また、防犯性も高まります。

○まちの景観に配慮した計画

- ・まちの景観に調和するように、親しみやすい家形(切妻)の建物形状をベースとした外観とし、シンプルかつコンパクトにデザインすることで、公園に溶け込む自治集会所になります。

○日常的なまちの交流拠点

- ・建物周囲に、交流拠点として日常的に利用できるように、展望・縁側テラスを計画します。展望・縁側テラスは回遊動線であると同時に、憩いの場としていつでも自由に使えます。
- ・大開口の集会室は展望デッキや縁側デッキを介して、公園緑道やベンチを設けた法面緑地と一体的に繋がり、一体的に利用されることで、交流拠点として使い方の幅が広がります。

○バリアフリーに配慮した計画

- ・高齢者の方等に配慮した緩やかなスロープを設け、バリアフリーなアプローチになります。
- ・多目的トイレもバリアフリーとし、開口部の建具は全て引戸、段差等は解消します。

○地震に強い自治集会所

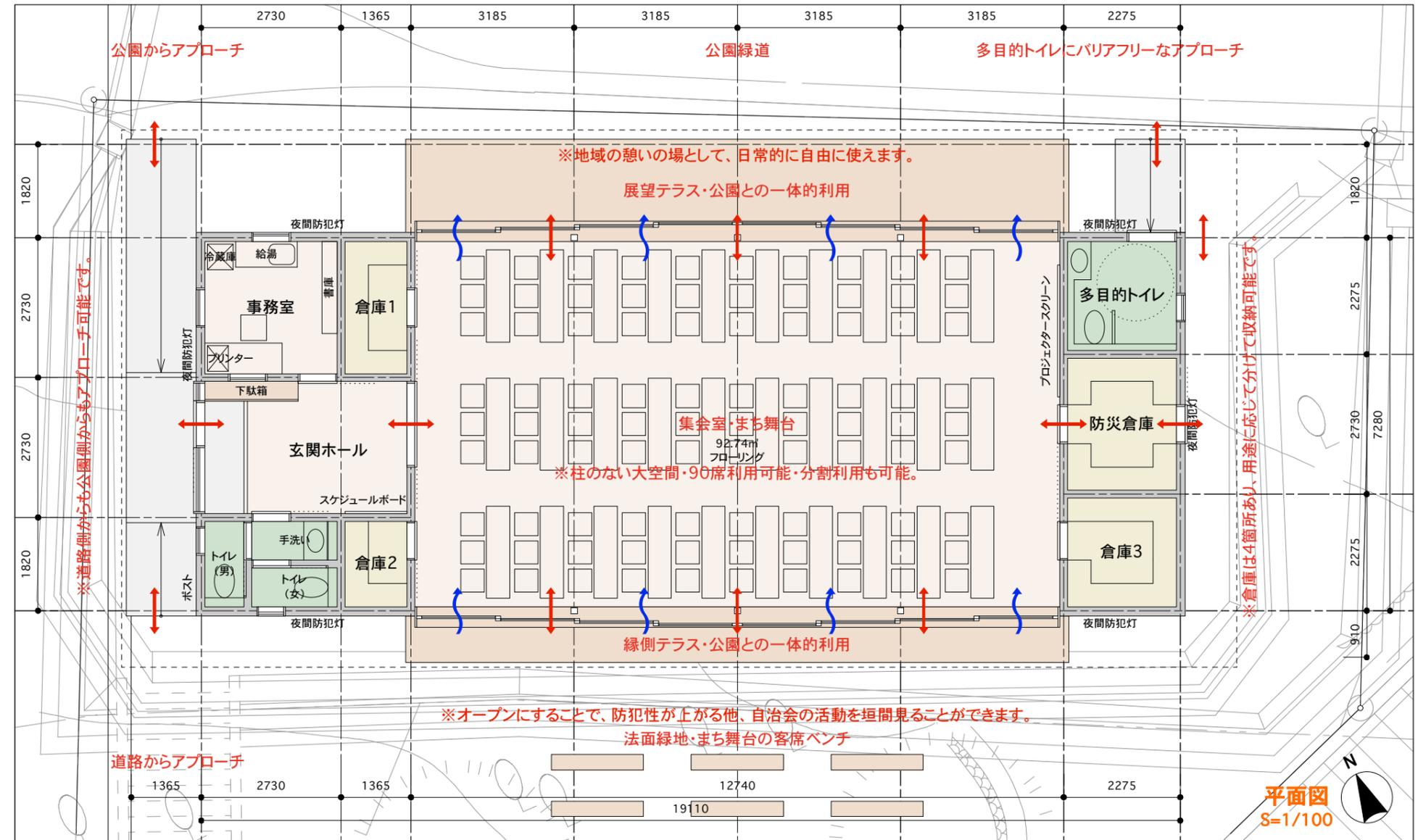
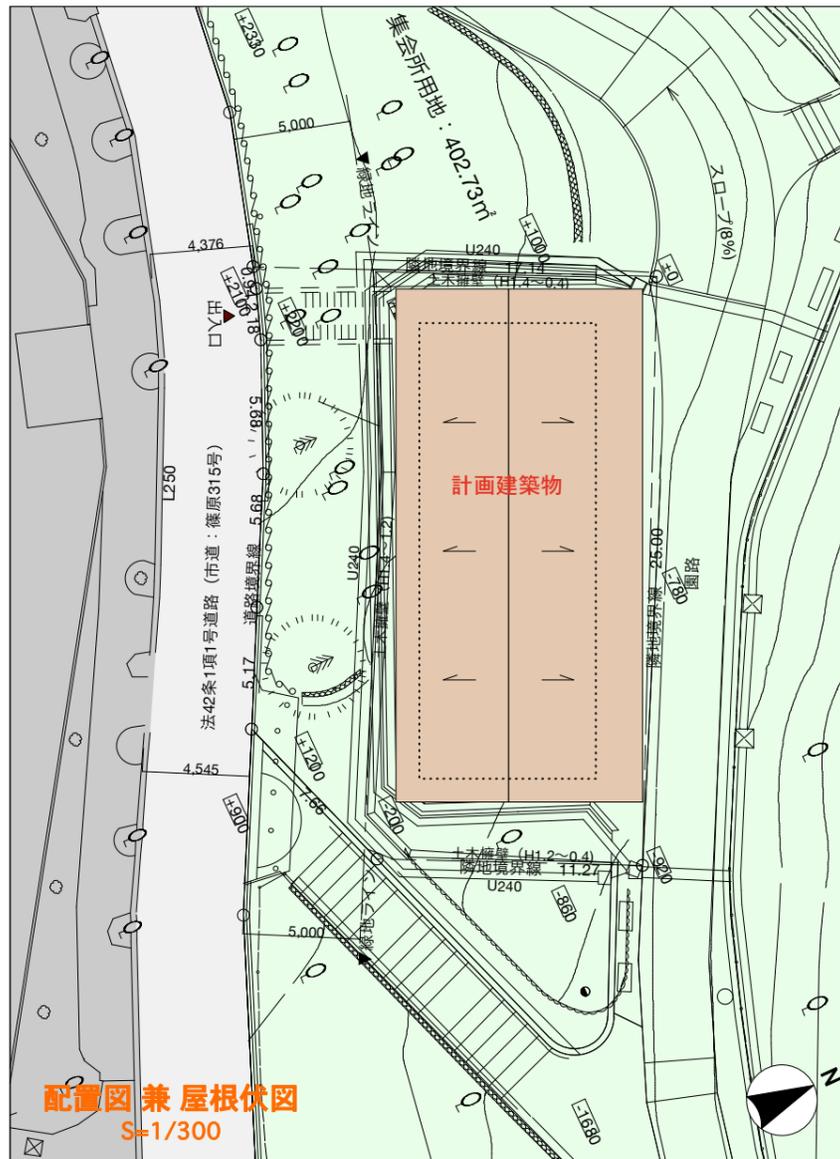
- ・大空間の集会室の両側にボックス状の壁(耐力壁)を配置し、屋根(水平)剛性を上げることで、地震に強い自治集会所とします。
- ・集会所の梁は木製トラス梁とし、柱のない大空間を実現します。

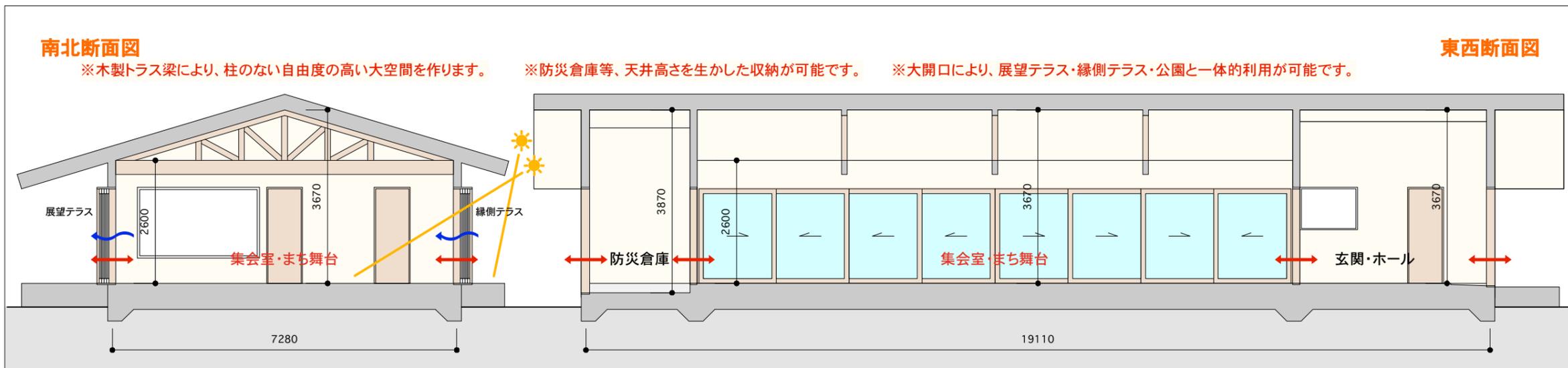
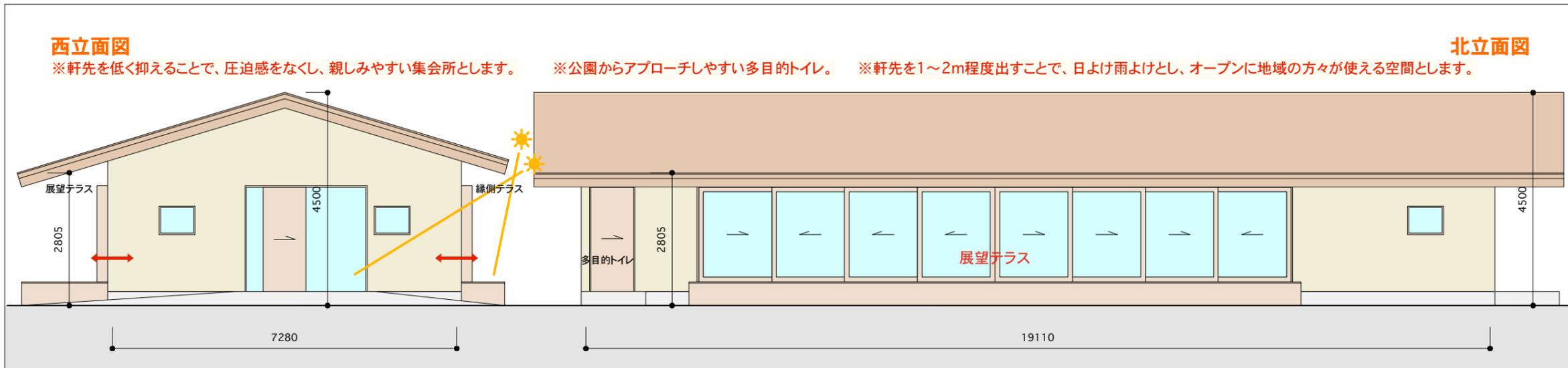
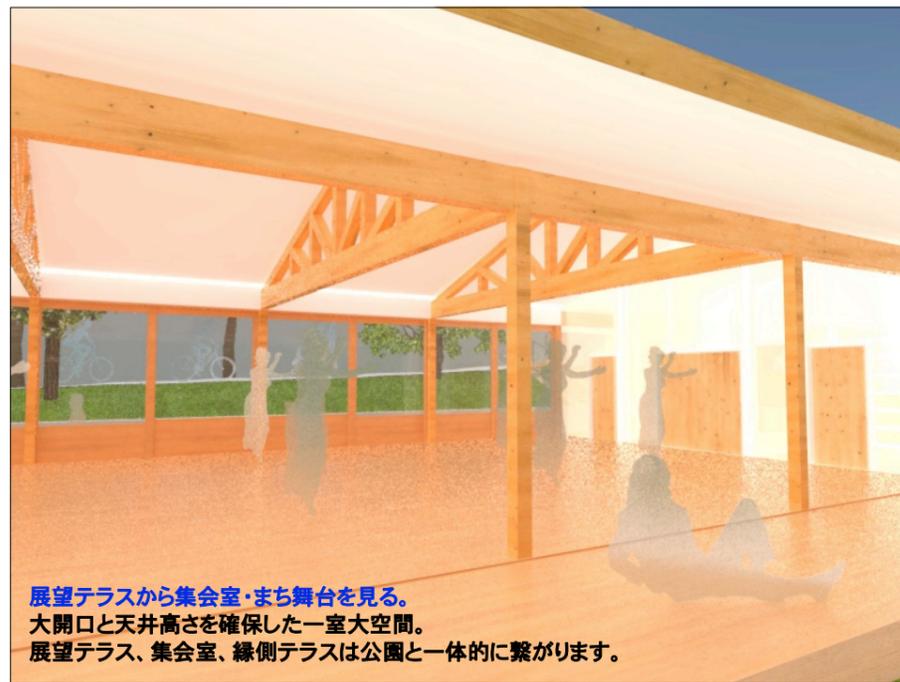


敷地北西側からの外観。
軒先の高さを抑えることで、圧迫感のない親しみやすい外観になります。
バリアフリーなアプローチを確保します。



敷地南東側からの外観。
縁側テラスによって、内外が緩やかに繋がります。
南側の法面緑地をポジティブに捉え、集会室・まち舞台の観客席に見立えます。





- ◎計画概要
- 面積表
 - ・敷地面積：402.73㎡(約121坪)
 - ・建築面積：160.23㎡(約48坪)
 - ・建蔽率：39.78% < 40%
 - ・1階床面積：139.12㎡(約42坪)
 - ・延べ面積：102.47㎡(約31坪)
 - ・容積率：34.54% < 80%
- 規模・構造
 - ・木造平屋建・在来軸組工法
- ◎仕上表(案として)
- 主な想定外部仕上げ
 - ・外壁：土塗り壁風装飾仕上塗材
 - ・屋根：ガルバリウム鋼板、一文字葺き
 - ・建具：木製ペア、防腐塗料
- 主な想定内部仕上げ
 - ・天井：石膏ボード、クロス貼り
 - ・内壁：石膏ボード、クロス貼り
 - ・床材：フローリング、デッキ
 - 水回り、倉庫はPタイル等
 - ・建具：木製、天然塗料仕上げ
- その他設備(電気・水道・エアコン)
- ・電気・給水・給湯・エアコン・防犯設備等
- ◎予算計画(案として)
- 総建設費 約4,500万円(税込)
 - ・本体工事費：約3,600万円
 - ・設備工事費：約450万円
 - ・設計監理料：約450万円
- 別途費用
 - ・外構工事、家具等備品、敷地測量、地質調査、地盤改良、登記・保険等
- その他予算捻出方法
 - ・補助金、有志寄付、協賛(資材提供等)